

獲せず。迷信の結果水禽の安全なる避難所、蕃殖所と爲れり。又湖中一島あり、廟を設けて龍王を祀る。我辨才天女を祀るに異ならず。是日途上黄羊の群に遭遇し射て一頭を獲たり。

三 始めて松樹を實見す

十日賽里木湖畔を過ぐれば、所謂伊犁の關門たる塔爾奇タルチの長狹隘谷にして毎年多少の修繕を加へて漸く車馬の通行を許す所なり行程約十二里、二臺アルタイ（鄂博勒齊鄂博勒齊）に着す。此地官店一戸の外、驛舍及小營房ありて、歩隊十名馬隊五騎を駐屯す。左右絶壁、溪水急下、轟々囂々、客夢を破るもの數次。

疾風揚浪扣船舷

飛沫沾衣忽冷然

夢醒尙聞濤響急

知他春水滿前川

沿途の山々皆松樹、是日始めて之を實視するに、一見五葉松の如きも其實普通の松にして、幹直く、枝短く、樹容宛ら杉に似て、葉は密生一ツ葉、長さ約二珊知あり。巴爾魯克山のものも恐らく同種ならん。

四 一日間に冬より春